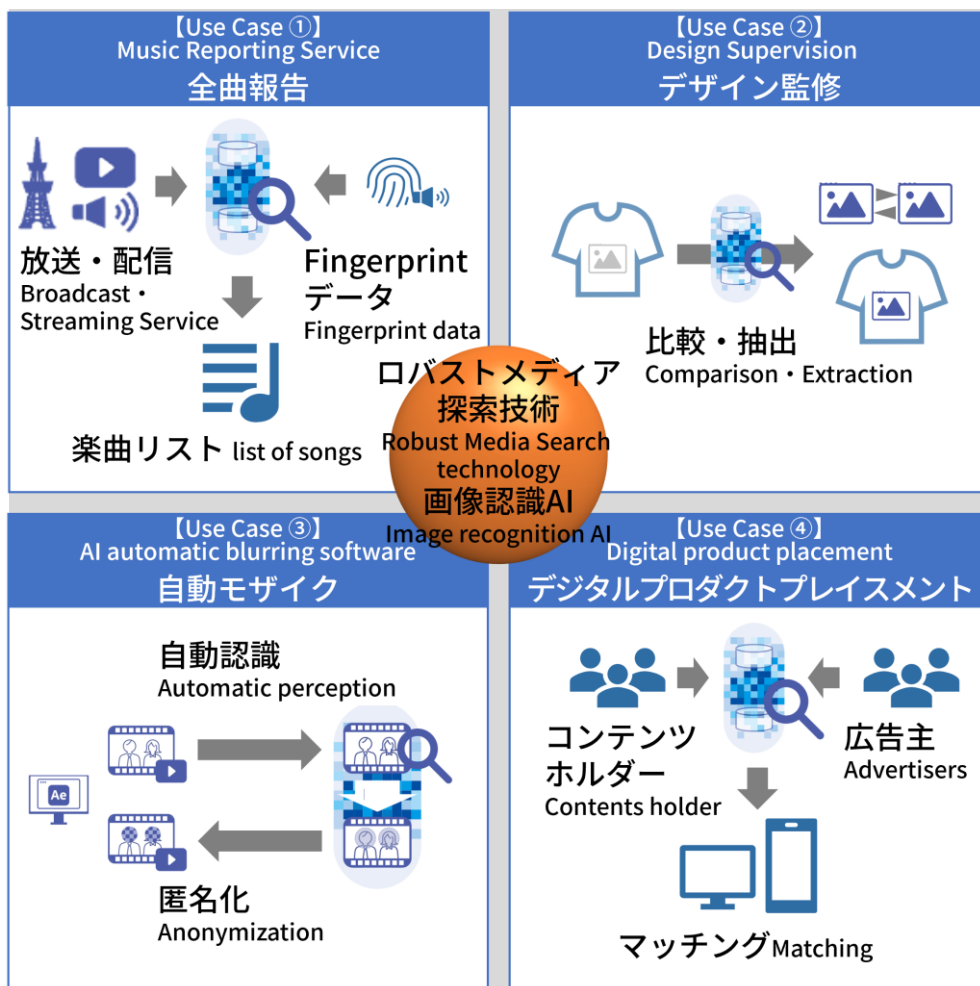


メディアAI技術によるビジネス活用

視聴覚による判断をAIで自動化することで、
業務改革・収益拡大・事業化を実現します

#業務効率化 #顧客体験価値向上



///技術課題

映像や音声データを扱う企業では視聴覚による判断が伴うため人手がかかり、高付加価値の仕事を受けられず収益機会を損失しています。

///研究目標

2つのメディアAI技術により、映像・音声・画像データにかかる業務を最大90%効率化し、収益機会を創出します。

---要素技術

- ・ NTT研究所が研究開発した、ロバストメディア探索技術
- ・ NTTデータが独自開発した画像認識AI

---市中技術差異点

- ・ 高速かつ高精度、高いロバスト性を実現
- ・ 検出精度について市中技術が70~80%に対し、98%と高い精度を実現

---適用ビジネス

- ① 放送番組や配信コンテンツで使用した楽曲をリスト化/権利団体へ報告するサービスに適用 (現在提供中)
- ② キャラクタ画像の差分を検知し、迅速に許諾可否を確認することで、ライセンス商品の投入速度を向上させ市場競争力を強化 (2025年1月提供予定)
- ③ 人物の顔やナンバープレート等の個人情報を検出しモザイク処理をして匿名化するサービスに適用 (現在提供中)
- ④ 撮影済みドラマ映像や生放送・配信映像スポンサーの商材を置き換えることで広告によるマネタイズが可能 (現在提供中)